

地域情報誌
2015年6月
(No21)

DE すがね

編集・発行 生きがいのある須金をつくる会

農ganic Festa 2015 開催！



(ようこそ須金へ～)



(ドラム缶ピザ、福島地酒も人気でした)

5月3日(日・祝日)、恒例の「農ganic Festa 2015」が、ふれあいプラザ須金周辺にて開催されました。

第4回目となるこちらのイベント、今年は残念ながら雨の中での開催となり、人気のツリークライミングや錦川ラフティングボートなど体験プログラムは中止に。それでも、須金の美味しいものを求めて、地区内外からたくさんの方が遊びに来てくれました！あらためて、みんなを引きつける須金の魅力を、パワーを感じました。ご来場いただいたお客様、スタッフの皆さん、そしてご協力くださった地域のみなさん、本当にありがとうございます！

来年も、楽しい&美味しい企画盛りだくさんで、「農ganic Festa」開催予定です。お天気に恵まれ、より多くのみなさんの笑顔が見られますように～！
(文/須田浩史)



「ほたるのすがね」、今年も開催します！



6月26日(金) 27日(土)に、今年も「ほたるのすがね」を開催します。

錦川を舞う、たくさんのホタルと水面に映るホタルの光、さらに満天の星空と自然のイルミネーションを堪能ください。ラフティングボートを自分で漕ぎながらの観賞となります。ちょっと水に濡れるのを覚悟して、ご参加ください。

時間は、夜**8時**と**9時**の部、**2回**行います。所要時間は約**40分**です。

お問い合わせ先は、ふれあいプラザ須金(0834-86-2000)まで。毎年、大人気のイベントです。ご予約は、お早めに～。
(文/福田陽一)

人物紹介

海田幸二（かいた こうじ）・春水（はるみ）さん



（松田さんご夫婦と共に）



（継承予定の松田観光農園）

松田観光農園で経営の継承を目指していらっしゃる、海田さん夫婦（遠石在住）にお話を伺いました。

Q1. 出身や経歴を教えてください。

（幸二）光市出身、前職は食品製造業です。昨年11月から松田観光農園さんにて、夫婦で研修生として梨・ブドウ栽培のノウハウを学んでいます。

（春水）徳山の出身です。2年前より、やまがた農園さんのお手伝いをさせていただいていた折、お隣の松田観光農園さんのお手伝いをする機会があり、その縁でお世話になる事になりました。

Q2. 農園を始めたいと考えたきっかけは何ですか？

（幸二）40歳を迎えて人生の分岐点として色々考えた時、サラリーマンとしてこのまま一生を終えるよりは、やりたい事をやってみたいという思いが強くなりました。新規就農・経営継承制度があったので、踏み切ることが出来ました。

（春水）10代のころより農業に興味がありました。このたび、夫の退職を機に今後の生き方について夫婦で話し合い、思い切って須金に飛び込みました。子供たちの後押しも大きかったです。

Q3. 趣味は？

（幸二）カーブ男子です！

（春水）やまがた農園の皆さんと「農園ゴスペルクワイヤ」として活動中です。「ゴスペル」とは、アメリカのキリスト教の教会で歌い継がれてきた黒人霊歌。愛や希望を歌詞に載せた歌から元気もらっています。昨年12月、それーねの日でデビュー、須金市日にも出演させて頂きました。緑に囲まれた空の下で歌うのは、とっても気持ちいいですよ！只今メンバー募集中です。



Q4. 今後の抱負や農園でやってみたいことを聞かせてください。

（幸二、春水）松田さんの長年の経験をしっかり学んで、安心安全な梨・ブドウ作りに励みたいと思います。

～松田さんより～自分のやってきた**50年**の経験を受け継ぎ、何よりお客さんに喜んでいただける商品作りを一番に考えて、これから頑張ってください。

ありがとうございました。須金フルーツランドは、若い方がどんどん挑戦されていますね。とても活気があって良い流れが来ていると感じました。
（インタビュー/三牧清隆）



自主防災組織が立ち上がりました！



この度、須金地区の自主防災組織が立ち上がりました。さて皆さん、自主防災組織って何をする組織だと思いますか？「災害があったときに真っ先に助けに来てくれる組織？」いいえ違います。じゃあ、「災害のときに消防団などを指揮する組織？」とんでもない。「え～！それじゃあいったい何をする組織？」

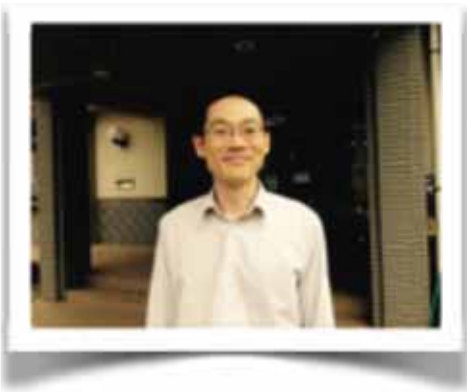
大きな災害時には消防や警察、自衛隊などがきっと助けてくれる（公助）、と思いますよね。確かにその道のプロですから心強いです。でも、須金のような山間部では、すぐに助けにきてもらえるとは限りません。それまでは自分達で何とかしなくてはならないのです。まずは自分と家族の命を守らなくてはなりません（自助）。次にお隣さんの安否を気にすることになります（隣助）。そして地区のみなさんがお互いに助け合わなくてはなりません（共助）。そのための備えや、仕組みを考えるのが「自主防災組織」なのです。

今、ようやく動き始めたばかりです。どうか、いろんなご意見をお聞かせ下さい。

皆さんの「知恵」と須金の誇りである「連帯」とで安心して暮らせるまちにしたいものです。

（文 / 吉安輝修）

新編集委員の紹介



皆さんこんにちは。4月から公民館に配属された三牧清隆（みまききよたか）です。これまでは、情報政策課（パソコンの整備）と競艇管理課（経理）で仕事をしてきました。慣れない仕事で悪戦苦闘の毎日ですが、みなさんの優しさと積極性に助けられています。

趣味は家事・育児で、4人の子供と子どもの様な妻1人のお世話をしています。好きなものはチョコレートで、胃が悪くなるまで食べます。

配属から2ヶ月、皆さんには助けて頂いてばかりですが、早く皆さんの力になれるように頑張りますので、これからもよろしくお願ひします。

錦川流域河川一斉清掃・もみじパーク草刈にご参加ください！！

主 催 生きがいのある須金をつくる会、須金地区自治会連合会
日 時 平成27年7月5日（日）8：30～
集 合 須金和紙センター前
持参器具 カマ、草刈り機、混合油等（ゴミ袋は用意します）

※自治会内の回覧は行いませんのでご注意ください。



須金地区主な行事予定

6月

- 6月3日（水）～4日（木）
民泊受入：関東学院中学校
- 6月6日（土）やまびこ号
- 6月7日（日）自然の学校（里山観察会）
プール清掃・真砂まき
- 6月8日（月）コミュニティ理事会
- 6月12日（金）高齢者福祉のつどい
- 6月14日（日）それーねの日
- 6月21日（日）北部球技大会
- 6月23日（火）やまびこ号
- 6月26日（金）～27日（土）
ほたるのすがね

7月

- 7月3日（金）小学校地域参観日
- 7月5日（日）錦川流域河川一斉清掃
- 7月10日（金）地域老人大学校（須々万）
- 7月13日（月）コミュニティ理事会
- 7月17日（金）小学校終業式
- 7月19日（日）消防団操法大会

雲海塾からのお知らせ

このたび、雲海塾では地域課題解決のひとつとして、「雲海塾なんでも屋」を始めました。庭や田畑の草刈り、買い物代行、犬の散歩などなど、みなさんの「困った」を雲海塾メンバーが代行します（基本的にはボランティアですが、実費がかかる場合もあります）。詳しくは、須金公民館（0834-86-2201）までお問い合わせください。



みなさんの「困った」を聞かせてください。
雲海塾が力になります！
（塾長/広実 力）

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。
須金で育って、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

須万市日

文 高橋 勝己

須万は徳山藩領でした。その中心地である須万市は、元禄三年（1690）に年一度1月21日に市の開設を許可されたことに始まり、それ以降、紙の取引の中心として、また、宿駅として繁栄し、御茶屋（時高家）や御用宿（鶴岡家）などが形成されていきました。須万市は、亀山八幡宮の下の原野が開発されて町ができたため、宮の原と呼ばれ、市を宮原市と称されていたこともありました。昭和55年まで須万市日は行われていました。下市の御用宿は現在の光森商店の裏手にあり、戦後までその建物の一部が残っていました。間口9間・奥行き6間、2階の大広間は100畳敷きもある大きな建物でした。

平成24年より須万市の民家を利用して飲食や体験などができるイベントを「須金市日」として開始し、たくさんのお客さんでにぎわっています。



（写真：当時の須金市日の様子）

編集後記

新編集委員に三牧さんを迎えたDEすがね編集部。新しい須金の魅力を、フレッシュな視点で伝えていただきたいな、と思っています。みなさん、今後の誌面に是非、ご期待ください～！

（須田浩史）